

風評・風化対策の強化について(案)

H27.4.21 新生ふくしま復興推進本部
広報課

現 状

原発事故による農業・観光への影響

【農業産出額】

< H25 > 2,049億円 (震災前 2,330億円) **H22年対比87.9%**

【ものの価格推移】

< H26 > 358円/kg (全国 519円/kg) **全国比68.9%**

< H22 > 439円/kg (全国 498円/kg) **全国比88.2%**

【観光客入込】

< H25 > 48,315千人 (震災前57,179千人) **H22年対比84.5%**

【教育旅行】

< H25 > 318,618人泊 (震災前709,932人泊) **H21年度対比44.9%**

風評被害に関する消費者意識の実態調査(第5回 H27.2)結果

< 食品中放射性物質の検査情報 > ※カッコ内は第1回から第4回の結果 出典:消費者庁

- ・基準値を超えた食品が確認された市町村では、同一品目の食品が出荷流通・消費されないことを「知っている」 **55.2%** (48%~58%台)
- ・検査が行われていることを「知らない」 **24.5%** (22%~26%台)
- ・福島県産品の購入を「ためらう」 **17.4%** (15%~19%台)

H26情報発信分析事業結果<首都圏> (H26.12)

- 【ふくしまの良いイメージ度】 42.0% (震災前 52.7%)
- 【ふくしまへの関心度】 64.7% (H26.6 68.0%)
- 【ふくしまへの応援度】 78.1% (H26.6 80.9%)

県主催イベントにおけるアンケート結果(ふくしまのイメージ)

【県外イベント】<県産農林水産物の購入について> (H27.1 大交流フェア等)

- ・放射線が心配だったが、検査で安全とわかったから購入している。
- ・応援したい気持ちで購入している。 ・放射線の影響が気になる。
- ・子どもに県産農林水産物を食べさせるのは不安である。

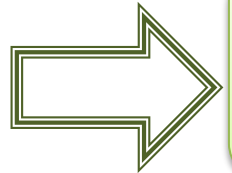
【海外イベント】<福島について知っていること> (H26.8 OECD東北スクール(パリ))

- ・復興に時間がかかっていることを知っているが、それ以上はよく知らない。
- ・福島は復興の真ただ中。人々はまだまだ難題にぶつかっている。
- ・震災の後の傷跡を消すためにたくさんの努力をしている。

「風評」と「風化」の二つの逆風

新生ふくしま復興推進本部【風評・風化対策PT】(風評・風化対策監を座長として関係課長で構成)

本県の復興を更に加速させるため、**各部局が連携して**風評・風化対策を強化していく必要がある。



強化戦略の策定

■ 一体的な取組を推進

- ・風評・風化対策のマネジメント
- ・市町村、国、民間等と連携した取組

■ 統一感のある効果的な情報発信

- ・情報の進化と、より伝わる発信

< 当面のスケジュール >

- ・4月下旬 : プロジェクトチーム設置(課題解決に向けた方向性や強化戦略(案)の検討)
- ・5月 : 新生ふくしま復興推進本部会議において強化戦略の決定
- ・4月~6月 : 部局連携による取組の実施、平成28年度の国の概算要求に向けた検討など